

概況(図1,表1) 房総丸(110ト)で観測した。3/1・2は北風が強かったため、沿岸域の測点から観測したが、徐々に風は西向きで強くなり、野島崎南東定線の沿岸5点は観測できなかった。3/7は残りの測点を観測したが、南風が強くなり、測点C5は欠測となった。3/2の海況は図1のとおり。房総半島沖における黒潮の離岸距離は「平年並」であった。

水温(表2,図2・3・5) 外房と銚子・九十九里海域は昨年10月以来「平年並」~「高め」であったが、今月は「低め」~「平年並」になった。各層の平年偏差は概ね負の偏差であった。

塩分(図4・5) 太東岬南東定線では、陸棚斜面側の水深300~700mに34.1以下の低塩分(極小域はC12の486mで33.56)が観測された。野島崎南東定線は水深300m以深の陸棚斜面側と沖合側に34.1以下の低塩分がみられた。また、犬吠崎沖合域の測点C16では、水深200~600mに34.1以下(極小値450mで33.48)の低塩分が観測された。本年1月以降、親潮第一分枝が大きく南偏し、2月は常磐海域と鹿島灘では親潮系水に覆われていたことから陸棚斜面側の低塩分水は親潮系水の影響と考えられる。

流況(図1・2)

沖合域で北東~東へ2ノット以上の流れが観測された。太東岬南方25マイル沖には、西向きの流れがみられ、小規模な暖水波及(図1を参考)があった。沿岸域では0.5ノット以下の流れが鴨川海底谷を境に東と西に分かれていた。

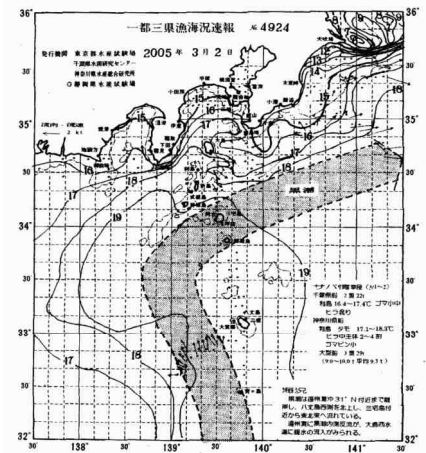


図1 一都三県漁海況速報

表1 房総沖の黒潮離岸距離(2005年3月)

基点・方向	距離(マイル)	階級
野島崎南東	40	平年並
太東岬南東	50	-
犬吠崎南東	(50)	平年並

*(数字)は海洋速報(海上保安庁海洋情報部)より

表2 水温の評価(2005年3月)

水深(m)	外房海域			銚子・九十九里海域		
	水温	平年偏差	評価	水温	平年偏差	評価
0	15.5	0.7	平年並	14.8	0.2	平年並
50	15.20	0.61	平年並	15.20	0.50	平年並
100	14.43	0.98	平年並	13.20	-1.38	平年並
200	13.88	0.49	平年並	9.89	-3.43	低め

*水温は各海域の評価点の平均値

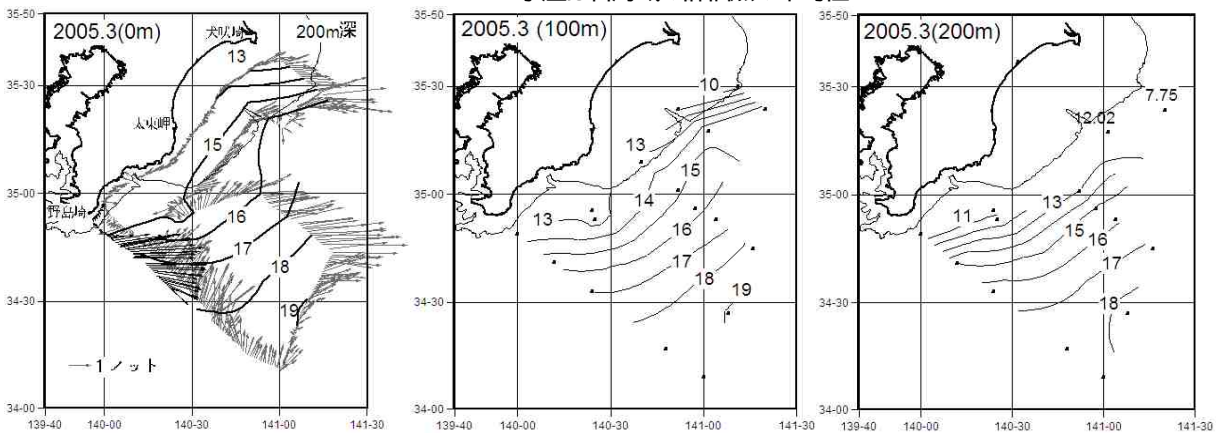


図2 水温と流向流速(5m深,灰色:3/1・2,黒:3/7)の水平分布

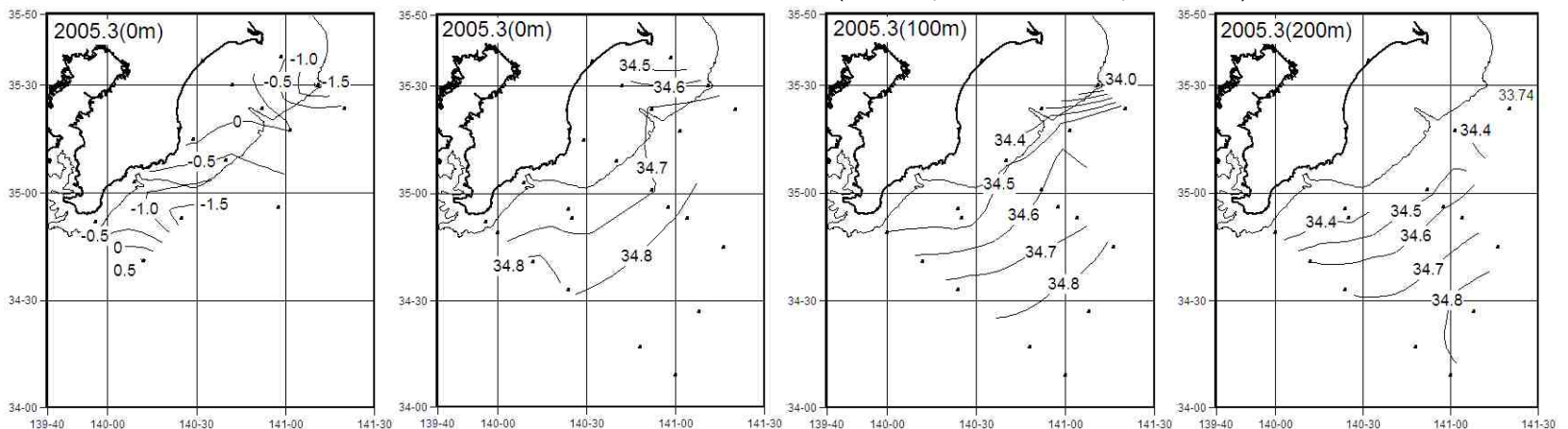


図3 水温の平年偏差

図4 塩分の水平分布

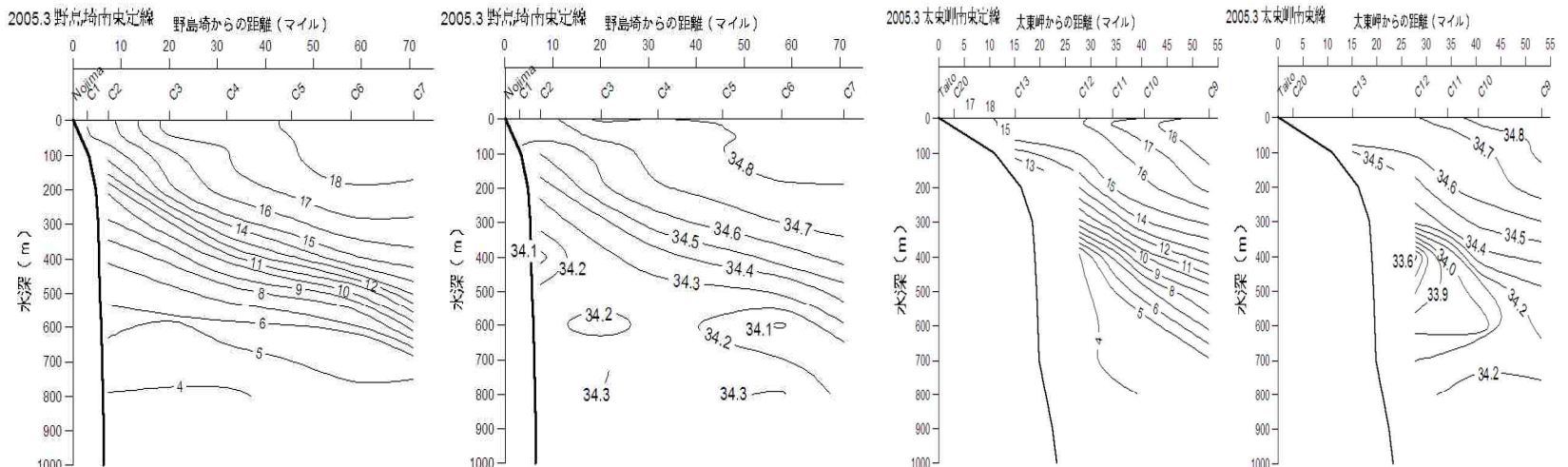


図5 水温と塩分の鉛直分布